

特集2 北海道カントリーホーム展開構想（第2次欧州視察）

当財団では、平成14年度より、都市住民に対する農村部におけるゆとりある田園居住の場や、農村社会の活性化を進めていくことを目的とした「北海道カントリーホーム構想」の調査・研究を進めています。

その一環として、平成16年度に引き続き「北海道カントリーホーム構想 欧州視察（メンバー合計12名）」を実施しました。

この視察においてはフランスの政府のバックアップのもと、フランシュコンテ地方やローヌアルプ地方を中心に、農業・農村地域の付加価値向上やグリーンツーリズムの促進の視点で、地方自然公園や農村における観光活動などの調査・ヒアリングを行ないました。

この結果を踏まえ、今後も当財団においては、北海道の農業・農村地域の活性化方策について継続的な調査・研究を行なっていきます。

【地鶏のまち プレス】

- ・「BRESSE（プレス）」は、フランス国内で唯一鳥のAOC※として認められている地域です。
- ・我々が訪問したLOUHAN（ルーアン）町は、当地域内に位置する人口約7,000人の小規模なまちですが、世界で最も有名な地鶏の生産地として、フランス国内だけでなく国外からも多くの人々を集めています。
- ・この地鶏は、農家から出荷される際に厳しい品質検査が課せられるだけでなく、その品質を守るために流通過程においてもAOC制度の中で厳正に管理されているとのこと。



ルーアン庁舎内にて、
筆頭助役よりレクチャー



プレスのロゴを付けて
市場にならべられる地鶏



広々とした農地で放し飼い
されているプレスの地鶏

【農村観光学校 アフラット】

- ・「AFRAT（アフラット）」は、フランス国内における「グリーンツーリズムのプロ」を養成する唯一の機関として、大きな役割を果たしています。
- ・当機関は1965年に設立され、現在はスポーツインストラクターの養成ほか、料理、経理や財務等の事業化に必要な知識も教えており、年間約200人の生徒を受け入れています。
- ・このアフラットの卒業生は、農村観光の担い手としてフランス全土で活躍しており、そのネットワークも充実しているとのこと。



アフラットの校舎全景



校舎内部にある調理研修所を
兼ねたレストラン



屋外での実習・講義の様子

【AOCチーズの里 ポッフオール】

- ・BEAUFORT（ポッフオール）は人口約2,500人の小さなまちであり、冬はスキー・夏はハイキング等に多くの観光客が訪れています。
- ・ここで生産される「ポッフオールチーズ」は1968年にAOC※に指定され、現在はその製造過程により「高地放牧ポッフオール」等の3種類のチーズにランク分けされています。
- ・ポッフオールでは美しい景観のもと農業が営まれています。景観を創り守りそして育てていくためには、農業者ほか地域の方々の景観に対する高い意識が非常に重要であるとのことでした。



ポッフオール地区の美しい丘陵地の景観



チーズ工場の内部。ポッフオールチーズが並べられている



ポッフオール地区の生産組合長よりレクチャー

【宿泊施設 「ジット」】

- ・我々視察団は、VERCORS（ヴェルコール）地方の「GITES（ジット）」に3泊しました。「ジット」はフランス国内において最も規模の大きい農村民宿ネットワークであり、農村の滞在者に対して上質なサービスを提供する宿泊施設です。
- ・我々が宿泊したジットでは、個室が完備されておりまたシャワーやトイレも専用かつ清潔、さらに専属のシェフもいて地域の素材を使ったおいしい料理を提供してくれました。



当視察団が宿泊した農村民宿「ジット」



「ジット」の内部（客室内部の様子）



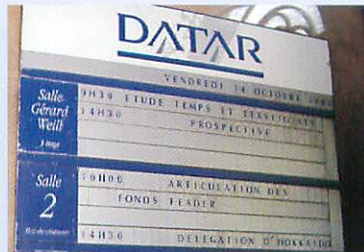
「ジット」の内部（ダイニングとキッチンの様子）

【そのほかの訪問先など】

- ①ヴェルコール地方を訪問し、地元市町村が主体となって経済的に脆弱な地域の活性化を図ることを目的とした、フランスの「地方自然公園制度」などについて説明をうけました。
- ②「国土整備・地方開発庁（DATAR ダタール）」の本部（パリ7区）を訪問し、フランスにおける国際投資関連政策や、中山間地域の振興政策等について講義をうけました。



①ヴェルコール地方自然公園の様子



②DATAR（ダタール）本部を訪問し、担当者よりレクチャーを受けました。



※AOC制度：「原産地統制呼称制度」と訳され、規格化された農産物を低コストで大量に生産することではなく、地域の個性のある農産物づくりを支援し守っていくための取組みです。AOCは、ワイン・チーズにおいて多く指定されています。